

新島村の移住定住政策を問う!

3月定例会の予算審議で集中的に審議され、
今までも一般質問でたびたび取り上げられてきた
移住定住支援と島留学について特集します。



予算審議

外部専門家の支援で、行政の課題解決や、移住定住へのノウハウ支援も！
地域活性化起業人導入事業（790万6千円）

内容は？

民間企業の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かしながら、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらい地域の活性化を図る。

令和4年度にコンサルティング業務に長けた起業人を導入し、各課の課題を洗い出し、改善の糸口を見出す。

令和5年度は課題に合わせた人材の導入、及び各課のニーズに対応できる人材を地域おこし協力隊等を活用しながら補うなど進めていく。

見込まれる効果は？

業務が多様化する中、職員は専門的な知識が必

要となるが、地域活性化起業人や地域おこし協力隊などの専門的な人材を導入し、企業効率をあげ地域の活性化を図る。(令和3年度の事業で、役場全体で相談しており、各課の課題に向き合っている。ただよう依頼している)

具体的には？

起業人の導入（2名）

- ・1名は月に2週間の現地支援とオンライン遠隔支援
- ・1名は月に2～3日の現地支援とオンライン遠隔支援（企画調整室長）

外部の意見を聞いて、外部の人間の力を借りて、産業振興を前に進めていく。(副村長)

説明会 意見交換会

伴走支援コーディネーター（令和四年度離島活性化交付金より事業費165万円）を中心とした移住定住事業の説明会・意見交換会が4月19日に開催されました。

コーディネーター役の泉谷氏は、周防大島在住で移住定住事業を担当しながらも、全国各地で移住定住の指導・研修をされている方です。泉谷氏が語った移住定住事業のポイントをご紹介します。

●お試し移住をオフシーズンに企画

オンシーズン（観光シーズン）ではない開催とすることで、本気度の高い移住希望者のみ集まることと、島の日常（もっといえば、この悪条件でも平気なら島暮らしできる）という生活を感じてもらうことが重要。

●お金を移住の決め手にさせない

家賃補助があるから、金銭的支援があるから、

という理由を移住の決め手にするのではなく、自らの意思で移住し、仕事を組み合わせる。

●だれもかれもではなく、どんな人に来て欲しいか、受け入れ地域側が選ぶようにする

ルールを守らない（島のコミュニティに合わない）人にはお断りいただいたこともある。問題を起こす人が長く居住することも、仲介する立場としても苦しくなる。

●予算だけでなく、知恵と人のつながりで移住・定住促進を

良い物件や仕事の紹介は、信頼関係があつてこそ。予算が不足していても、当事者意識で知恵と工夫でできることを考えていく。

(文責：木村諭史)

移住定住
サイトの開設

新島・式根島の移住定住ポータルサイト「flow life (フローライフ)」が4月に開設されました。

島ぐらし体験や空き家情報、求人情報、移住者のインタビューなど内容が充実しています。

新島村の空き家バンクは物件数が少ないため、物件が登録されるとすぐに契約されてしまい、常時紹介できる物件がないのが現状です。まずは定住化体験住宅を入りに、『人生の通過点に島という選択を』というキャッチコピーのもと、「人生の流れの中で島を体験してもらうことで関係人口を増やしていく」というコンセプトで情報発信が行われていく予定です。

(文責：木村諭史)



▲こちらのサイトに掲載された移住者の斉木氏は、今月の表紙でも紹介しています。

島留学

神津島・八丈島で話題の島留学に、新島村でも取り組み始めました！
令和5年度の新島高校入学に向けて体験ツアーが実施されます。

内容は？

高校におけるものなので都立高校が行うものだが、学校以外の地域での生活は地域全体で支えていく。それに関わる環境整備等については村が担うものになる。令和5年度は2名という設定（ホームステイ）だが、受け入れは継続して順次増やしていきたい。ホームステイから寮の形も希望していきたい。神津島の成果を参考にしていきたい。

(教育長)

魅力化を図ることも大事だが、公設民営塾、学力向上、学校の魅力化で人を呼ぶのか？

(前田邦弘議員)

新島の環境の中で、それがいいのかどうかは議論の必要がある。地域の中の人材を活用した補助教員も含めて、学校と地域が協働して学力向上に結びつけていくのもありかと。高校から島留学、中学・小学校の留学とつなげていくことが島の将来に絶対に必要と考える。(教育長)

「令和4年度
中学生島しょ体験新島村ショートツアー」
～東京都教育委員会のウェブサイトより～



主催：新島村教育委員会、共催：東京都教育委員会
都立新島高等学校における島外生徒受入事業(令和5年度入学生対象)の実施に向けて、新島村教育委員会と連携して実施。令和4年6月3日(金曜日)～6月5日(日曜日)2泊3日(1泊は船中泊)。対象は令和5年度に新島村内の一般家庭でホームステイをしながら都立新島高等学校へ入学することを検討している都内公立中学校3年生及び保護者4組。応募締め切りは5月13日(金曜日)